

Campus Life

No172 2018.9



あふれる光の中で思い思いに過ごす15号館1階リラックスエリア



三島キャンパスでの国際交流
ニューヨーク・ストーニーブルック大学の学生たちと



硬式野球部が全日本大学野球選手権大会に出場
神宮球場にて



日本大学国際関係学部長

渡邊 武一郎

暑い日が続きますが、学生の皆さんは元気に学生生活を過ごされていることと思います。本年度は国際関係学部

に696名、短期大学部ビジネス教養学科に91名、食物栄養学科に78名、専攻科食物栄養専攻に15名、大学院国際関係研究科には5名、更には、三島高等学校に688名、三島中学校に51名と、三島キャンパス全体で1,624名の新入生を迎えることが出来ました。全ての生徒、学生、大学院生を合わせると、三島キャンパスでは約5,000人が学んでいます。

新カリキュラムも3年目を迎え、6つのコース(国際関係、国際ビジネス、グローバルスタディ、グローバル観光、国際文化、国際コミュニケーション)での専門科目の授業が開講されています。学生の皆さんには、それぞれの将来の目的や夢につながるコースを選択していただき、基礎知識だけでなく各分野の専門知識を身に付けてもらおうと同時に、卒業後の進路決定に生かして欲しいと思っています。

今年度から新たに観光学の宍戸学先生、英語のヴァーラ内田エイドリアン先生、英語音声学の大井川朋彦先生を国際関係学部にお迎えしました。新カリキュラムが完成する平成31年度には、学生たちの進路選択に誇るべく結果が出ることを確信しています。また、短期大学部ビジネス教養学科にはスポーツ科学の岡野雄司先生をお迎えし、即戦力のある学生の育成に努めています。

部活動では、硬式野球部が神宮球場にて開催される全日本大学野球選手権大会に出場しました。結果は惜しくも初戦敗退となりましたが、キャンパス全体が明るい話題に包まれました。また、課外活動では、静岡県による「しずおか寺子屋」創出事業として昨年度新たな形でスタートした国際関係学部学生による近隣小学校での放課後学習指導は引き続き今年度も実施され、近隣小学校で本学部の学生が活躍しています。

2019年に創立130年を迎える日本大学の伝統のもと、日本一教育力のある大学の一翼を担う学部として、今後も更なる創意工夫を重ねて発展に努めたいと思います。



国際関係学部 国際総合政策学科

宍戸 学

専門は観光学で、「国際観光政策」「国際観光文化論」等を担当しています。現在は、科研費「訪日教育旅行の誘致手法」が研究課題です。工場夜景、インバウンド誘致など現場の課題に着手し、日本学生観光連盟の顧問として、多くの観光系大学の学生達とともに産学連携・人材育成に取り組んでいます。



国際関係学部 国際教養学科

ヴァーラ内田エイドリアン

本年4月より、英語の講義を担当しています。英語だけではなく様々な知識とスキルを学び、仲間と協力しながら、自分自身で成長できるようになる授業を目指しています。そして、将来英語を駆使し、自分に自信を持って活躍してもらいたいと思います。一人でも多くの学生にその楽しさを伝えたいです。



国際関係学部 国際教養学科

大井川 朋彦

英語音声学、英文法、英作文、英語学などの授業を担当しており、言語学、特に音声学を専攻しております。音声学は言語で使用される音(音声)を科学的に研究する学問です。「習うより慣れよ」をモットーに、単に知識を身につける座学としてではなく、発音・聴取訓練を中心とした、実技科目のような授業を行っています。



短期大学部(三島校舎)ビジネス教養学科

岡野 雄司

本年4月に赴任し、スポーツI、健康科学特論、健康管理概論、スポーツ科学と健康、基礎ゼミナール(スポーツビジネス)を担当しています。社会に力強く巣立っていく学生さん達に健康とは何か、自己管理の大切さ、スポーツの必要性を教えています。日本大学を選んで入学してきてくれた学生さんに感謝して、満足してもらえるよう、共に学びその成長を支えていきたいと思っています。

平成29年度退任者

国際関係学部		短期大学部(三島校舎)
教授 重松 博之	教授 神山 真理	教授 神戸 絹代
教授 吉本 隆昭	助教 佐藤 量介	教授 淵野 辰雄

開講式

4月4日、満開の桜の下、平成30年度開講式が桜アリーナ(総合体育館)で行われ、国際総合政策学科384名、国際教養学科312名の新入生を三島キャンパスに迎えた。この日から様々なガイダンスや部活・サークルの勧誘も行われ、新緑のキャンパスは学生の活気で満ち溢れた。



1年生ソフトバレー大会



1年次の必修科目である「自主創造の基礎」では、親睦を深めるためクラス対抗ソフトバレー大会を開催。珍プレー・好プレーの

連続で大いに盛り上がった。参加者には日大オリジナルタオルと集合写真が贈られた。

インド・ゴア大生来日

5月初旬、本学部提携校であるゴア大学から6名が来日、約1か月間の日本研修を実施。本学部での授業および工場見学、箱根旅行等のアクティビティを通じて、日本語や日本文化を学んだ。日大生とゴア大生が共に学ぶ講義も行われ、英語で日本の生活様式を説明したり、両国について活発に意見交換。送別会ではゴア大生が三島での学びについて心のこもったスピーチを披露してくれた。



ニューヨーク州立ストーニーブルック大生来日



5月下旬、提携校のストーニーブルック大学から16名が来日。約1か月間の日本語研修を実施した。午前には日本語の授業、午後は部活動訪問を通じて様々

な日本文化を体験。留学生は三島市周辺のご家庭にホームステイし、素顔の日本を知る貴重な機会を得た。本学部生も得意の英語能力を駆使し、各種行事の企画から運営まで積極的に参加した。(写真は座禅体験)

キャンパスでの国際交流

今年は日中平和友好条約締結40周年記念の年。両国の友好と親睦を深める催しが本学部でも開催された。また、在籍する交換留学生と学部生が協力して児童向けの英語教育をはじめとした様々な国際交流事業を行っている。本学部では国際関係論や政治、経済、歴史といった科目を交換留学生と共に学ぶことができ、毎年受講生から好評を得ている。

硬式野球部・女子硬式野球部が全国大会に出場



全国大会にアベック出場を決めた選手たちの壮行会が6月5日、第一体育館で開催された。会場には在学生・吹奏楽部・チアリーダー部・教職員が集まり、選手へエールを送った。

「平成30年度上期市民公開講座」



5月下旬から、上期市民公開講座「近代日本の夜明けと世界—明治維新150年」を開催。本学部の教員を中心に計5回の講演を行った。地元ゆかりの葦山代官・江川英龍から、岩倉使節団、近代軍隊の創設、そして日露戦争の勝利に至るまで、明治期の知られざる裏話や専門的所見を交えて熱弁が振るわれた。毎回多くの市民の皆様がご参加くださり、活発な質疑応答や意見交換が行われた。

国際関係研究所主催「米朝首脳会談」講演会

7月13日、共同通信社客員論説委員・平井久志氏を迎え、「米朝首脳会談と朝鮮半島情勢」と題する学術講演会を開催。北が核を放棄するの



避難訓練を実施

6月28日、避難訓練を実施。避難経路、消火器、AEDの使用方法を確認し、万が一に備えた。

オープンキャンパス開催

例年通り前期のオープンキャンパスを国際・短大で実施した。国際では学部説明、模擬授業、入試・留学・奨学金・就職等の各種相談コーナーを設置し、在学生トークでは、留学経験から得た国際感覚や大学での学びの大切さを在学生の目線で大勢の高校生と保護者に熱心に伝え、好評だった。



最新のキャンパスニュースは、国際関係学部ホームページ(<http://www.ir.nihon-u.ac.jp/>)にて、随時更新してお伝えしています。ぜひご覧ください。

「現場」を知り、参加する学生たち。インターンシップ・プログラムも充実

書物や教室内での話では飽き足らない。そんな好奇心旺盛な学生のニーズに応じるため、国際総合政策学科では、法律、政治、ビジネスなどの現場で活躍する専門家を招いた学術講演会を開催しています。本年度前期は、4名の講師を迎えての



学術講演に耳を傾ける学生たち

実施となりました。6月は、元国連職員の久木田純氏から、「21世紀の地球社会と私たちの人生」と題して、途上国支援の現場に従事した経験から国際協力のあり方について、北京大学教授の梁云祥氏から、「国際情勢の変化と今後の日中関係」との演題で、昨今の日中関係をめぐる最新の国際情勢について、立教大学教授の水上徹男氏から「外国人住民の増加と日本のエスニシティ研究」とのタイトルで、近年の在留外国人の増加による日本の地域社会への影響などについて、それぞれ講演していただきました。また、7月には弁護士の船山泰範氏から「裁判員裁判の贈り物」と題し、刑事司法への国民参加がどのように浸透しているかについて論じてもらいました。



学外研修 上) 羽田クロノゲート

下) JICA横浜・海外移住資料館にて

また、実践的な知見を得る観点から、学生自身が現場に赴き、見聞することも重視しています。本年度前期は羽田クロノゲートとJICA横浜・海外移住資料館を訪問し、日本を支える物流システムの最前線や日系人移住者の現地での経験について学びました。

さらに深く現場を知りたい。そうした要望にも応えるべく、夏季のインターンシップ・プログラムも充実させています。本年度は内田洋行、ウエルシア薬局等の業界大手や、伊豆箱根鉄道、三島信用金庫等の地元企業、三島市役所等の公共機関を含む40社近くで実施しました。本格的な就職活動を控えた3年生にとって、進路先を考える上でも、企業でのインターンシップの経験は大変有益です。

グローバル化が進み、様々な情報で溢れる中、若者の関心も多様化しつつあります。学生にとって何が最適なのか。この問いの弛まぬ追求を続け、少しでも多くの学生に満足してもらえる教育を目指します。

大学院・国際関係研究科だより

平成29年度は7名に修士号、1名に博士号を授与



学際研究会の様子

国際問題に対して様々な角度から取り組み、国際社会に「知」を還元する専門家を育てるため、大学院では充実した指導体制をとっています。

担当教官による綿密な研究指導に加え、政治・法・経済・文化の各分野の本学部教員の最新の研究成果を発表する「学際研究会」を開催し、大学院生も参加しています。本年度前期は、穴戸学教授が「観光研究における観光教育の現状と課題」と題した報告を行い、学術分野の垣根を越え、学際的な議論を深めました。

こうした環境の下、昨年度は博士前期課程修了の7名に修士号、後期課程修了の金井尊史氏に博士号が授与されました。金井氏は本年度より本学部の非常勤講師として後進の指導にあたっています。

平成30年度は新たに5名が前期課程に、1名が後期課程に入学しました。研究は一朝一夕にはいきません。一步一步ゆくりと歩む研究者の卵たちを、教職員は常に励まし、温かく見守っていきます。

真の国際教養人育成のために様々な講演会、学外研修を実施

国際教養学科では、文字通り国際的な教養を学生に身に付けてもらうべく、授業以外に多くの外部講師を招いて多彩な学術講演会を開催しています。今年度前期は以下の3回の講演会を開催しました。



「ゴジラ」「ピカチュウ」などの名前の付け方から「音声学」を楽しむ学ぶ講座に、学生たちは興味津々。川原繁人氏の学術講演会にて

第1回学術講演会(6月19日)

于雷氏(北京外国語大学教授文学博士)による「“The California's Tale”の翻訳『山家の恋』から中国語訳『山家奇遇』まで—“Gold Rush”, “Exclusion Act”と清末の翻訳文学を中心に—」

第2回学術講演会(7月2日)

川原繁人氏(慶応義塾大学准教授)による「名付けの不思議と音の不思議」

第3回学術講演会(7月4日)

石毛二郎氏(JTB中国支社取締役社長)による「旅行事業のグローバル戦略」

こうした学術講演会によって、学生の視野が広まり、知識欲の深まりにつながることを期待しています。

また、フィールドは学内だけではなくありません。美術展覧会や観劇など、キャンパスを飛び出して、国内外の様々な文化に触れる機会を作っています。

美術館めぐり(5月20日)

東京都美術館では「プーシキン美術館展—旅するフランス風景画」、国立西洋美術館では「プラド美術館展ベラスケスと絵画の栄光」を鑑賞。前者ではモネ、ルソーなど風景画の発展の歴史を、後者ではスペインのベラスケスの作品を軸に、17世紀絵画の傑作について興味深く学びました。



「絵画の背景にある物語を知ることにより深く理解することができ、とても有意義な研修でした。」(参加者の感想より)
国立西洋美術館にて

歌舞伎鑑賞会<六月大歌舞伎>(6月24日)

歌舞伎座で「妹背山婦女庭訓」「文屋」「野晒悟助」を鑑賞。世界に誇る日本文化・歌舞伎を堪能しました。

真の国際教養人になるためには、自国の文化も知ることは必須。こうした研修を通して、学生たちが日本文化と海外文化を学ぶことは車の両輪であると理解することを期待しています。



初めての歌舞伎に期待が膨らむ。歌舞伎座前にて

三島キャンパス 告知板

【保護者就職相談会】

国際関係学部・短期大学部(三島校舎)では学園祭の時期に保護者の皆様を対象とした就職相談会を開催しています。コンサルタントによる講演と、大学の就職担当教職員による個別相談の二部構成で実施します。

奮ってご参加ください。

日時：平成30年10月28日(日)13:00~16:00

場所：日本大学国際関係学部三島駅北口校舎

【国際関係学部海外ゼミナール実施 2018・夏期】

寛正治ゼミ 中国・上海

夢沼智行ゼミ アメリカ・ニューヨーク

鄭勛燮ゼミ 韓国・ソウル

安元隆子ゼミ ロシア・サンクトペテルブルグ

【後期の奨学生募集】

日本大学三島後援会特別奨学金(秋期)

募集：11月の予定

対象：他の学内奨学金の給付を受けていない者で、自宅通学が不可能な地域からの下宿学生、及び、遠隔地域からの新幹線通学の学生

給付額：120,000円

(新幹線通学静岡駅からのみ80,000円)

※なお、春期の採用者であっても再申請可です。

三島キャンパス広報誌「**Campus Life**」は、保護者の皆様に新鮮な内容をお届けするべく、今年度から年2回の発行となりました。次号は2019年3月の予定です。

短期大学部(三島校舎)・学科だより ビジネス教養学科

ビジネス教養学科では、2018年4月に新入生91名が入学し、2年生85名と合わせ合計176名で新学期をスタートすることができました。少子化や大学全入時代到来の影響を受け、1学年80名の定員を充足することができない状況が続いておりましたが、本学の教育方針をご理解いただき、今年度は定員を確保することができました。短大本来の使命である短期職業人育成に加え、4年制大学への編入学に力を入れていることを知っていただけたことが、この結果につながったものと考えております。これからも本学教職員一同、気を引き締めて教育・指導に当たってまいります。

このところ、編入学を巡る環境に大きな変化がおこっています。文科省が2016年度から、入学定員超過による私立大学等経常費補助金の不交付の基準を厳しくしたことにより、都市部の大学が入学定員の厳格化を実施した結果、各大学の入試難易度は上昇しました。そこで、希望する大学をあきらめ入試難易度の低い大学に進学するよりも、短大に進学し力を付けて4年制大学へ編入することを考える学生が増えています。

また、入学定員の厳格化は編入学試験にも影響を与えています。4年制大学側からは、退学者が出た場合の欠員補充の役割として編入学試験が見直されつつあります。これまでも多くの4年制大学から編入学試験の推薦枠をいただいておりますが、今後この傾向はますます強くなっていくものと考えられます。ちなみに、今年度は駒澤大学経済学部から推薦枠1名の追加をいただきました。

編入学を成功させるために欠かすことができないのが、語学力の向上です。編入学試験には必ず英語の試験が実施されます。これまでも英語の教育には力を入れてまいりましたが、より短期間に成果をあげること考え、今年度よりZ会が提供する「TOEIC®LISTENING AND READINGテスト100UPTレーニング」を導入することになりました。印刷教材だけでなく、タブレットやスマートフォンをオンラインで使い、それぞれの理解度に合わせ基礎的な文法や語彙を短期間に習得することができるプログラムです。

一方、本来の短大の使命である短期職業人教育にも、これまでどおり力を入れております。今年度も夏休みの期間を利用し、インターンシップが実施されます。

本学のインターンシップは、卒業単位として認められるものであり、本学専任教員の指導の下、ビジネスマナーの指導などを行っていることから、企業側からも高い評価をいただいております。昨今、就職活動の際にインターンシップを重視する企業も増えており、就職に結びついた事例も過去多くあります。

就職活動に有利な資格取得に直接かわりのある科目も多く開講されています。簿記、パソコン、ファイナンシャルプランナーなどの商学、経済学系の資格だけでなく、観光系の科目を受講すれば、国家資格である「旅行業務取扱管理者」の受験もできます。

就職を目指している学生だけでなく、編入学を目指している学生の皆さんもチャレンジしてもらいたいと思います。3年次編入ですと、編入したその年から就職活動の準備が始まります。編入してからでは、こうした資格のための勉強に時間を確保するのはとても難しいのが現実です。保護者の皆様からも、資格取得を是非とも後押ししていただきたいと思います。



平成30年度ビジネス教養学科学術講演会

「多文化共生～命の参観日」 講師／玉城ちはる先生

(歌手。留学生支援のホストマザーを自費で10年間務める。)

安田女子大学非常勤講師、一般社団法人Each理事)

》三島キャンパスの後期の予定《

9/20 》 後期授業開始

10/ 4 》 創立記念日(休校)

10/14・21 》 ワールド・カフェ

10/27・28 》 富桜祭

12/25 》 冬季休暇開始

2019 1/ 9 》 冬季休暇終了

1/10 》 授業再開

1/12～29 》 到達度確認期間

1/29 》 後期授業終了

1/30～2/ 1 》 定期試験(諸過程)
教職と栄養士科目

3/25 》 日本大学卒業式
学位記等伝達

短期大学部(三島校舎)・学科だより 食物栄養学科

食物栄養学科は、2年制の栄養士養成施設で、当学科では栄養士資格のほかに4つの資格(フードスペシャリスト・フードアナリスト・製菓衛生師・介護職員初任者研修)が取得できます。栄養士資格取得のため、講義と実験実習を組み合わせた授業形式になっています。講義により理論と知識を学び、実験実習で理論・知識を実証します。1年生は入学早々に学生生活サポート研修、2年生は校外実習事前指導を実施し、通常の授業だけでは学ぶことができない理論や知識の修得ができる機会を作っています。

1年生学生生活サポート研修及び学外研修

新入生相互の親睦、教員とのコミュニケーションを図り、大学生活がスムーズにスタートできるようにすることを目的としたサポート研修と基礎食品学等の専門的知識を深めることを目的とした学外研修を毎年実施しています。平成30年度は4月14日(土)にサポート研修と学外研修を同時に実施しました。サポート研修では、グループワークを体験することにより、協調性及び積極性を養いました。学外研修は、裾野市にあるヤクルト富士裾野



思索の森にて

工場の見学をしました。予防医学と健康長寿を目的として開発されたヤクルト誕生秘話、乳酸菌の生理機能などの説明を受けたのちに、製品製造過程を見学し、製品が衛生的、安全な環境で作られていることを理解しました。

新しい級友と共に



ヤクルト裾野工場見学

2年生校外実習事前指導

2年生は8～9月の校外実習に向け、事前指導を5回行いました。学内外の講師による事務連絡、マナー講座に始まり、現場の栄養士、管理栄養士から学修すべきポイントを学び、総仕上げである最終回の「事前学習ワークショップ」では、自らの考えを意見交換してまとめあげました。

短期大学部(三島校舎)・専攻科食物栄養専攻だより

専攻科食物栄養専攻は、日本大学短期大学部食物栄養学科の卒業生や栄養士養成施設として認可を受けた短大あるいは専修学校の卒業生が進学できる、4年制大学の3、4年生に相当する教育機関です。本専攻科では2年間、食と栄養に関する専門分野の講義や実習を学修し4年制大学卒業と同等の学士を取得すれば大学院への進学も可能になります。また、在学期間は管理栄養士国家試験の受験に必要な年数に加算できるため、専攻科修了後2年間の実務経験を経て国家試験受験資格が得られます。本専攻科は平成26年度入学者から特例適用認定専攻科として認定され、所定の単位を修得し、2年次に開設される学修総まとめ科目「特殊講義(専攻科)」の研究成果を要旨にまとめて提出することにより、大学評価・学位授与機構から学士(栄養学)の学位を取得できるようになりました。専攻科2年

生も卒業に向け、この夏に校外実習を行います。前述の「短大2年生校外実習事前指導」の場で専攻科生は自らの経験に基づき、教員と協調して短大2年生を頼もしく指導していました。



短大2年生・専攻科2年生の校外実習事前指導

国際関係学部

建設業
旭化成ホームズ(株)
(株)一条工務店
(独)水資源機構
大東建託(株)
大和ハウス工業(株)
積水ハウス(株)
(株)日本ハウスホールディングス
三井ホーム(株)
ミサワホーム(株)
三井住建道路(株)
製造業
(株)キーエンス
(株)コーセー
スズキ(株)
天龍製鋳(株)
東芝機械(株)
トヨタ自動車(株)
富士フイルム(株)
(株)マースエンジニアリング
三菱重工業システム(株)
ヤマハモーターパワープロダクツ(株)
情報通信業
(株)インフィニトラベルインフォメーション
エヌ・ティ・ティ・システム開発(株)
エン・ジャパン(株)
(株)キャリアデザインセンター
銀銀コンピュータサービス(株)
東京コンピュータサービス(株)
(株)日本信用情報機構
(株)福島民報社
(株)日立ハイシステム21
(株)ビーブレイクシステムズ
(株)フォーカスシステムズ
(株)フレックス
(株)マイナビ
ヤマハ発動機マネジメントサービス(株)
(株)両モシステムズ
運輸業・郵便業
(株)エーアイティー
ANAテレマート(株)
(株)バスカイ
京浜急行バス(株)
国営カターラ航空
(株)後藤田酒店
静岡鉄道(株)
(株)JALスカイ
鈴与カゴネット(株)
(株)ゼロ
(株)ソラドエア
東海旅客鉄道(株)
東京国際空港(株)
日本物流(株)
日通NECロジスティクス(株)
日本航空(株)
日本郵政(株)
東日本旅客鉄道(株)
北海道旅客鉄道(株)
山九(株)
リョーロジスティクス(株)
卸売業・小売業
青山商事(株)
アサヒグループ食品(株)
イオンリテール(株)
伊勢久(株)
伊藤忠リーテイルリンク(株)
(株)イトーヨーカ堂
(株)エディオン
(株)ENEOSウイング
エレマテック(株)
(株)大塚商会
花王カスタマーマーケティング(株)
神奈川トヨタ自動車(株)
(株)カワチ薬品
(株)クリエイトエス・ディー
(株)ザラ・ジャパン
(株)サンドラッグ
(株)静岡伊勢丹
静岡スバル自動車(株)
(株)静鉄ストア

卸売業・小売業
資生堂ジャパン(株)
(株)ジンス
住商機電貿易(株)
西華産業(株)
(株)TTC
(株)TOKAIホールディングス
東京日産自動車販売(株)
(株)ドン・キホーテ
日本瓦斯(株)
日本トイザらス(株)
日産プリンス静岡販売(株)
ネットヨタ郡山(株)
ネットヨタスルガ(株)
ネットヨタ福岡(株)
(株)ノジマ
富士ゼロックス静岡(株)
(株)ビックカメラ
(株)ホンダカーズ静岡
丸文(株)
三菱食品(株)
(株)メガネット
(株)ヤナセ
ヤマハ発動機販売(株)
(株)ユナイテッドアローズ
ユニー(株)
リコー・ジャパン(株)
(株)ロフト
金融業・保険業
藍澤證券(株)
(株)秋田銀行
(株)足利銀行
尼崎信用金庫
SMBG日興証券(株)
警察共済組合
(株)京業銀行
(株)四国銀行
静岡県信用漁業(協組連)
静岡県労働金庫
(株)静岡銀行
(株)静岡中央銀行
島田信用金庫
(株)清水銀行
城南信用金庫
昭和信用金庫
スルガ銀行(株)
西武信用金庫
全国共済農業(協組連)静岡県本部
第一生命ホールディングス(株)
(株)大東銀行
大和証券(株)
筑後信用金庫
(株)千葉銀行
(株)千葉興業銀行
(株)栃木銀行
長野県信用組合
沼津信用金庫
浜松信用金庫
(株)肥後銀行
(株)広島銀行
(株)フィナンシャル・エージェンシー
プレミアファイナンシャルサービス(株)
三島信用金庫
みずほ証券(株)
水戸信用金庫
(株)宮崎太陽銀行
明治安田生命保険(相)
(株)ゆうちょ銀行
横浜幸銀信用組合
不動産・物品賃貸業
アパグループ(株)
(株)アパマンショップホールディングス
(株)NTT東日本一南関東
(株)オープンハウス
(株)新日本建物
住友不動産販売(株)
(株)タカラレーベン
明和地所(株)
西尾レントオール(株)
三井不動産リアルティ(株)

宿泊業・飲食サービス業

アパホテル(株)
大江戸温泉物語(株)
(株)クリエイト・レストランツ・ホールディングス
(株)クリスタルインターナショナル
(株)グリーンハウスフーズ
(株)セブン&アイ・フードシステムズ
(株)東横イン
(株)プリンスホテル
(株)ベルクラシック東京
(株)星野リゾート
(株)ホテル小田急
(株)ライオン・エクスプレス
リゾートトラスト(株)
リソルホールディングス(株)
ルートインジャパン(株)
UCCフードサービスシステムズ(株)
生活関連サービス業・娯楽業
アサヒサンククリン(株)
(株)エイチ・アイ・エス
(株)エヌオーイー
(株)エム・シー・ネットワークスジャパン
(株)JTBコーポレートセールス
(株)ジョイバック
TBCグループ(株)
東武トップツアーズ(株)
日新航空サービス(株)
(株)平安
(株)ベストブライダル
教育・学習支援業
(学)大谷学園 清心女子高等学校
(産)神奈川県教育委員会
国立大学法人静岡大学
(株)さなる
静岡県教育委員会
(学)日本大学
(学)沼津学園 飛龍高等学校
ヒューマンアカデミー(株)
複合サービス事業
伊豆の国農業(協)
遠州夢咲農業(協)
大井川農業(協)
高知県農業協同組合中央会
さがみ農業(協)
静岡県経済農業(協組連)
信州諏訪農業(協)
南駿農業(協)
日本郵便(株)
富士宮農業(協)
前橋市農業(協)
山形おきまま農業(協)
サービス業(他に分類されないもの)
ALSOK東京(株)
ANA成田エアポートサービス(株)
公益社団法人青年海外協力協会
静銀ビジネスクリエイト(株)
セコム(株)
東京海上日動コミュニケーションズ(株)
(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構
(独)労働者健康安全機構
日本赤十字社茨城県支部
日本マニファクチャリングサービス(株)
(株)船井総研ホールディングス
公務
石川県金沢市役所
警察庁神奈川県警察本部
警察庁警視庁
警察庁静岡県警察本部
警察庁長崎県警察本部
静岡県御殿場市小山町広域行政組合
静岡県函南町役場
静岡県静岡市役所
静岡県庁
静岡県富士宮市役所
静岡県三島市役所
千葉県松戸市消防局
富士山南東消防本部
防衛省 海上自衛隊
防衛省 航空自衛隊
防衛省 陸上自衛隊

短期大学部(三島校舎)

建設業
(株)オンテックス
製造業
(株)ウィンウィンピーターパン
氏原製菓(株)
(株)三協
(株)石舟庵
中部フーズ(株)
津具屋製菓(有)
日本ワコン(株)
富士産業(株)
町田食品(株)
(株)ラッシュジャパン
情報通信業
日本情報産業(株)
卸売業・小売業
(株)アスフードサービス
(株)NHC
(株)オグマ商会
(株)加藤美峰園本舗
(株)杏林堂薬局
(株)ジェイアル東海バスセンター
(株)ジェイエイしずきサービス
ダイハツ沼津販売(株)
(株)ドラッグストアモリ
トヨタローラ静岡(株)
日産プリンス静岡販売(株)
日清医療食品(株)
ネットヨタスルガ(株)
(株)ビック富士
(株)ファンケル
フジ産業(株)
(株)フュービック
(有)ベジウェル隆
(株)マルヨ
(株)村松商店
(生協)ユーコープ
金融業・保険業
富士信用金庫
不動産・物品賃貸業
(株)エイフル
(株)ニッポンレンタカー東海
宿泊業・飲食サービス業
(株)エイト
エムサービス(株)
大江戸温泉物語(株)
dilettante café
日本ゼネラルフード(株)
瓢亭
(株)プロンコビリー
生活関連サービス業・娯楽業
(株)カープスジャパン
医療・福祉
あさい歯科クリニック
(社福)桔梗
(社福)恵伸会
(社福)湖成会
(社福)静岡恵明学園
志都呂保育園
すぎやま歯科クリニック
(株)スローライフ
(医)社團青虎会
(社福)どうんこ会
中山皮膚科・形成外科
(社福)富士育英福祉会
ラスール掛川
教育・学習支援業
(社福)あけぼの会
静岡県立大学法人
複合サービス事業
あいら伊豆農業(協)
御殿場農業(協)
サービス業(他に分類されないもの)
(株)伊豆急コミュニケーション
(株)インター・フィールド
税理士法人野中会計事務所
(株)クリエイティブ 食彩倶楽部
公務
静岡県沼津市役所
防衛省 陸上自衛隊

就職先の傾向について

国際関係学部では、広く学際的な学びを展開していることから、卒業生の就職先も多岐にわたっています。進路を業界別で分析すると、卸売・小売業(22.2%)、サービス業(19.6%)、金融・保険業(11.3%)の順となっています。また、公務員、教育業界、航空や鉄道を含む運輸業界等にも順調に人材を輩出しています。大学新卒求人においては、業界や企業規模にかかわらず、主体的行動力やコミュニケーション調整力に加え、国際的対応力が高く評価されます。これらの基礎能力は、当学部が用意している各種のカリキュラムをきちんと消化すればおのずと身に付きますので、1年次から真剣に学習に取り組んでいただきたいと思います。

短期大学部(三島校舎)の卒業生の主な就職先は、卸売・小売業(28.6%)、医療・福祉業(22.9%)、サービス業(21.4%)となっています。短期大学部学生は、1年次から就職活動を開始しなければならないため、卒業後の進路を入学後早急に決定し、学業に取り組む必要があります。